

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	在宅ケア環境小委員会	主 査 名：児玉 善郎 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会	委員長名：布野 修司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者・障害者の住宅改修支援に関する各地の状況、最新動向の把握(通年)</li> <li>・ケアマネジャー向け住宅改修研修用ビデオ、研修用ツールの開発(2004 年度)</li> <li>・開発したビデオやツールを用いた研修のあり方の検討(2005 年度)</li> <li>・住宅改修の効果・有効性の評価(2006~2007 年度)</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 児玉 善郎(日本福祉大学)、野口 祐子(聖学院大学)、橋本 彼路子(STUDIO 3)、阪東 美智子(国立保健医療科学院)、岡部 真智子(日本福祉大学)、糟谷 佐紀(神戸学院大学)、金子 勝明(群馬松嶺福祉短期大学)、北岡 敏郎(有明工業高等専門学校)、古賀 紀江(前橋工科大学)、鈴木 晃(国立保健医療科学院)、田中 正敏(福島学院大学)、野崎 勉(愛知工業専門学校)、橋本 美芽(首都大学東京)、蓑輪 裕子(聖徳大学短期大学部)、村上 良知(熊本県立大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	在宅ケア環境情報WG (小委員会のホームページの管理・運営、関連情報の収集と発信)	
2006 年度予算	253,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s15/">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s15/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 報告書『『理由書』標準様式を活用した住宅改修評価システムの構築に関する研究』(2007.3 未作成予定)
講習会	1. 佐倉市の住宅改修事例検討会(5 回実施) 参加者数のべ 100 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 公開研究会「住宅改修の評価システムのあり方 - 住宅改修評価の実践事例をもとに考える」 参加者数 50 名(予定) (資料名)同上 2. 見学会「いっばく荘」 参加者数 8 名 3. 見学会「TOTO UD 研究所」 参加者数 10 名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 介護保険制度の住宅改修に関するケアマネ向けの研修用ビデオの配布、HP を活用した関連情報の発信
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 住宅改修の理由書標準様式を用いている自治体の割合を調査し、理由書を用いた評価の可能性を検討した。 2. 複数の自治体の協力を仰ぎ、理由書のデータベースを作成し、現行の課題を抽出した。 3. 地域包括支援センターや住宅改修に関連する諸制度(アドバイザー制度等)を調査し、住宅改修の評価システムの構築の可能性を検討した。 4. 見学会や研究報告会を開催し、委員間の交流と情報収集の活発化を図った。 5. 昨年度に引き続き、活動の中間報告として公開研究会を企画・開催する(2 月末予定)。 6. ホームページのコンテンツを見直し、充実化を図った。
委員会活動の問題点・課題	1. 予算規模が小さいため、地方の委員の上京に伴う旅費の支出に限界がある。 2. 医療・保健・リハビリ分野などの専門職との連携が必須であるが、学会員でないために委員就任を求められず、委員会への協力を仰ぎにくい。